



障がい者学生支援

恵泉女学園大学では1990年、全盲の学生1名の受入れに始まり、主として視覚障がいのある学生を恒常的に受入れてきました。2003年度より本学は学習支援制度を設け、障がいのある学生の学習支援を行っています。2020年度では聴覚3名、視覚1名、身体機能1名をサポートしました。

学内表彰式（ノートテイク表彰式）

ノートテイクとは、主に聴覚障がいのある学生が授業を受ける際に、先生が話している内容やその場で起こっていることを文字に起こすことで、“耳の代わり”の役割を担う学内支援のことです。2020年度は26名のノートテイカーの活躍に対し、表彰式を行いました。総テイク時間は1373時間でした。



アドミッションポリシー

恵泉女学園大学は、本学の教育理念に共感し、本学での学びに高い意欲と目的意識を持つ学生を、年齢・国籍を問わず幅広く求めています。

ハラスメント防止に関する方針

恵泉女学園大学では「就学就労するすべての学生及び教職員が能力と個性を自由に発揮できることを目的とし、大学における、性・ジェンダー、社会的身分・地位、人種又は国籍等に基づく不当な差別的取扱いその他のハラスメントの発生を防止するための教育及び啓発活動の展開並びにハラスメントに関する相談又は苦情の適切な処理についての必要な事項を定める」とし、少数民族、低所得の学生、非伝統的な学生、女性、LGBTの学生、障害のある学生など、社会的に受け入れられていないグループに対して平等に受け入れ、公平性を保つことができよう取り組んでいます。

カウンセリングルーム・健康管理室

学生の心身の状態をサポートするために、カウンセリングルームや健康相談室を設置しています。カウンセリングルームでは学生の皆さんが充実した学生生活を送れるようお手伝いをしています。相談は臨床心理士3名が担当します。相談内容によっては、解決できそうな機関や専門家への紹介も行っています。2020年度はオンラインやメールでの対応を実施しました。

